

「入学定員の厳格化」と今後の展望

高学館 進路指導センター

今年度の入試では、文部科学省による「入学定員の厳格化」によって、大規模大学の多くが合格者の絞り込みを行い、関西圏でも非常に厳しい入試となりました。

◆大学の「収容定員」の問題

大学の「収容定員」は、教育の質を適正に保つために、政府の定める基準によって管理されています。しかし、実態は基準通りにはいかず、「入学定員割れ」の大学がある一方で、人気の高い大学では「入学定員超過」という問題が生じています。特に大都市圏への入学者が集中する一方で、地方から学生が流出している現状を是正するため、2016年以降「入学定員の厳格化」という措置が講じられています。

◆「入学定員の厳格化」

① 私立大学への補助金の不交付

収容定員の基準を超過すると、大学は国から補助金を交付してもらえなくなります。収容定員 8000人以上の大規模大学の場合、2015年までは定員の1.2倍までの超過は許されていましたが、2016年から段階的に基準が下げられ、**2018年以降は1.1倍**となっています。大学側は、今までよりも合格者を減らすことで、この基準を満たそうとするため、2019年以降の入試も受験生にとって厳しい入試となることは間違いありません。

また、昨年度は合格者の絞り込みを行ったことにより、受験生の安全志向が強まり、一人当たりの受験回数が増えました。その結果、志願者数が増加したにも関わらず合格者数は減少し、今年度の浪人生は関西圏でも文系を中心に1.2～1.3倍に増加しています。今年度も、昨年同様またはそれ以上の浪人生（＝皆さんのライバル）が出る可能性があり、皆さんの受験にも確実に影響するでしょう。

大規模大学での補助金不支給の基準		例) 関西大学 商学部 入学定員 726 名の場合		
2015年	1.2倍を超えると全額不支給		最大合格者数	前年比
2016年	1.17倍を超えると全額不支給	2015年	871名	—
2017年	1.14倍を超えると全額不支給	2016年	849名	-22名
2018年～	1.10倍を超えると全額不支給	2017年	827名	-22名
		2018年～	798名	-29名

※平成31年度からは、定員充足率が0.9～1.0倍の場合に私学助成金の増額措置が実施されます（医歯学部を除く）。

②学部新設の不認可

補助金の不交付の他に、定員の基準を超過した場合には、新しい学部を新設することも許されなくなります。仮に補助金が交付されなかったとしても、学費の値上げなどで経営を維持することは可能かもしれませんが、大学は世の中のニーズの変化に応じて学部の再編や新設を行う必要があります。その認可が下りないとなると、大学にとっては死活問題です。学部の入学定員が300名以上の大規模学部を持つ大学では、2019年には過去4年間の平均が1.05倍を超えると、学部の新設は認可されません。学部の新設を予定している大学では、特に今後の入試が厳しくなるでしょう。

大規模大学での学部新設不認可の基準		例) 2020年に学部新設予定の場合	
2016年	1.30倍を超えると不認可	2016年	1.17倍
2017年	1.25倍を超えると不認可	2017年	1.14倍
2018年	1.15倍を超えると不認可	2018年	0.945倍
2019年以降	1.05倍を超えると不認可	2019年	0.945倍
		平均	1.05倍

例) 大規模大学が2020年に学部を新設する場合、過去4年間(2016~2019年)の平均を1.05倍に保つ必要があります。仮に、2016年で1.17倍、2017年で1.14倍の入学者がいるとすると、続く2018年、2019年では0.945倍に抑えなければなりません。

◆今年度の入試結果と今後の展望

大規模大学である関西大学は、一般前期日程において、全体として前年比プラス6395名の志願者増の一方で、合格者を前年より1717名減らしています。さらに、定員の調整をしやすくするため、補欠合格の制度を今年度から新たに導入し、1440名を補欠合格候補としましたが、第一次補欠繰り上げ合格者の数は83名と極めて少なくなっています。また、以前から補欠合格の制度を導入している関西学院大学でも同様の現象が起きています。さらに、近畿大学でも、補欠制度の導入はないものの、学部によっては大きく合格者の絞り込みがあり、全体として合格者数減となりました。

他方、小・中規模大学では、大規模大学に比べて、定員の基準はもう少し緩いものになります。しかし、大規模大学の入試で合格者の絞り込みが行われることによって、そこでの不合格者が大量に小・中規模大学に流れ込むこととなります。実際、今年度の入試では、昨年までは定員割れしていた学部に、定員の3倍以上の志願者が集まるという事態も起こっています。よって、規模の大小に関わらず、私立大学全体に定員厳格化の影響が及んでおり、この傾向は来年以降も続くと予想されます。

そこで、今後入試を迎える皆さんは、この「かなり厳しい」現状をしっかりと念頭に置いた上での、早期学習・早期対策が必要不可欠です。先輩や兄姉などに、「受験対策は高3から始めても間に合う」、「部活を引退してからでもなんとかなる」などと言われることがあるかもしれませんが、今後はそういうわけにはいきません。一刻も早く受験勉強を始めてください。

資料1 関西大学入学試験志願者・合格者の2か年比較(一般入試 学部個別日程・全学部日程)

入学年度 学部	2018年度					2017年度	
	志願者数	合格者数		補欠合格		志願者数	合格者数
		人数	対前年度比	候補	第1次 補欠合格		
法	4,969	777	82.3%	133	0	4,488	944
文	7,701	1,209	88.6%	138	0	6,870	1,364
経済	8,269	1,128	78.4%	212	0	7,363	1,439
商	7,178	1,074	93.7%	111	0	6,936	1,146
社会	7,477	932	80.2%	100	6	6,808	1,162
政策創造	3,874	438	89.6%	109	0	2,571	489
外国語	2,492	301	77.2%	27	0	2,299	390
人間健康	2,498	354	105.7%	-	-	2,176	335
総合情報	3,418	492	93.5%	30	0	3,270	526
社会安全	3,227	257	61.7%	189	21	2,838	416
システム理工	6,021	1,632	94.1%	80	7	5,723	1,734
環境都市工	3,679	804	81.3%	133	24	3,489	989
化学生命工学	3,226	1,085	85.7%	178	25	2,803	1,266
計	64,029	10,483	85.9%	1440	83	57,634	12,200

資料2 関西学院大学入学試験志願者・合格者の2か年比較(一般入試 全学日程)

入学年度 学部	2018年度				2017年度			
	志願者数	合格者数		補欠者数	志願者数	合格者数	補欠者	
		人数	対前年度比				人数	合格者
文	1,670	356	76.7%	73	1,732	464	47	0
法	1,438	341	81.0%	101	1,296	421	75	14
人間福祉	934	134	66.7%	70	723	201	63	0
国際	668	64	87.7%	17	664	73	13	0
教育	829	210	96.3%	49	965	218	32	6
総合政策	1,117	268	93.4%	64	979	287	35	28
理工	1,701	702	98.9%	220	1,807	710	224	71
社会	1,452	292	91.0%	76	1,735	321	39	18
経済	1,998	332	63.7%	107	1,732	521	104	0
計	11,807	2699	83.9%	777	11,633	3216	632	137

資料3 近畿大学入学試験志願者・合格者の2か年比較(一般入試A日程)

入学年度 学部	2018年度			2017年度	
	志願者数	合格者数	対前年度比	志願者数	合格者数
法	3,197	453	90.0%	4,115	503
経済	8,066	730	78.0%	7,033	936
経営	9,987	901	84.5%	8,542	1,066
理工	8,990	1,800	89.0%	8,800	2,023
建築	2,866	308	97.8%	2,992	315
薬	1,841	206	100.0%	2,075	206
文芸	4,107	653	154.7%	4,763	422
総合社会	5,723	551	106.8%	5,132	516
国際	2,886	334	64.9%	3,386	515
農	4,659	880	105.6%	5,415	833
医	1,645	227	104.6%	1,750	217
生物理工	1,909	624	94.7%	2,197	659
工	3,408	1,206	93.7%	3,293	1,290
産業理工	1,186	368	77.8%	1,301	473
計	60,470	9,241	92.7%	60,794	9,974